

日印間における外傷・救急医療人材の育成事業を、2019年より開始

～日本の外傷外科医をインドへ！インドの災害救急研修チームを日本へ！～

本邦の救急・外傷医療を担っている日本救急医学会（代表理事：嶋津 岳士、大阪大学大学院医学系研究科 救急医学 教授）及び日本外傷学会（代表理事：木村 昭夫、国立国際医療研究センター病院 救命救急センター長）は、日印間の「救急・外傷領域における人材育成交流事業」を開始いたします。

■概要説明

全インド医科大学（AIIMS）と両学会の間で本年3月に締結された基本的覚書に基づき、本年度から交流事業を開始します。多数の外傷患者が手術を必要としているインド側へ、本邦から外科医師・看護師を1～2か月間派遣し、外傷外科の修練を行います。この経験は外傷専門医の修練実績とみなされ、高度な技術をもった専門医の育成に寄与します。さらにインド側からは、災害・病院前救急医療などの研修のために医師・看護師のチームを招聘します。インド側で、今後この分野の核となるべき指導者を養成することを目指した研修です。

■アピールしたいこと

高度な技術がありながら外傷手術症例の少ない本邦と、多数の傷病者が押し寄せるが病院前医療・災害医療に対する取り組みが始まったばかりのインド側との互恵的な人材交流事業です。

■組織概要

事業管理：日本救急医学会・日本外傷学会インド外傷センター協力支援合同委員会

委員長：溝端康光

URL：

http://www.jaam.jp/html/info/2019/info-20190328_2.htm

http://www.jast-hp.org/archive/resource_exchange2019/offering_circular.pdf

■本件に関するお問い合わせ先

日本救急医学会・日本外傷学会

日印人材交流プロジェクト（担当：藤原）

【E-mail】 m2056550@med.osaka-cu.ac.jp 【TEL】 06-6645-3987